

一般社団法人 日本応用地質学会
令和6年度・2024年度
第2回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日時：2024年7月29日(月) 15:00～17:30

場所：日本応用地質学会 事務局、Zoomを用いたWeb会議(併用)

出席者：長谷川委員長、菊地副委員長、昆委員、野々村委員、濱田委員、水野委員、百嶋委員、百瀬委員、山崎委員、山田幹事

委任状提出：加地委員、越谷委員、徳楠委員、安田委員

陪席：茶石顧問

議事：

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2024年4月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・国際会員申込書の更新と、学会誌の海外送付状況の確認を、速やかに行う。

2. 理事会報告

- ・令和6年度第1回理事会の内容について報告がなされた。
- ・Japan NG代表は、新会長の都合により元会長が任期を1年延長とした。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC14 参加報告

- ・報告レポートについて、公開する場合には改めて内容を精査する必要がある。(例：図 7_VP(WEG)、図 9_VP(YEG))

2) IAEG Newsletter 2024 No.1 & 表紙写真依頼

- ・2024 No.1の発行内容について説明がなされた。
- ・2024 No.2の投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。
- ・能登半島地震写真の表紙掲載予定について、事務局へ確認する。

3) 2024 Council Meeting 関連(10/9)

- ・提出資料案(出席者確認、NG活動報告)について説明がなされた。
- ・指摘事項を修正した上で、速やかに事務局へ提出する。

4) IAEG 2024 年会費請求

- ・学会事務局の支払い状況を確認する。

5) AEG(Association of Environment & Engineering Geologists)

- ・各資料の準備状況について確認した。
- ・土木地質研究部会では、AEGとの交流は今後も継続する予定。JSEGの窓口は土木地質研究部会と国際委員会が担う予定。

<共通>

- ・当日に向けた対応(印刷担当&部数、現地への持参方法(昆委員:9/7 発のフライトで移動予定)など)について、土木地質研究部会に確認する。
- ・特にパンフレットとポスターは、今後の他の国際会議でも流用できる内容で作り込む。

<パンフレット>

- ・指摘事項(6ページ化、書籍発行を削除、ダイバーシティ関連記事を追加、ARC 開催地のポンチ絵を挿入、JSEG 役員情報の修正(President・Chairman の2本立て)、など)を更新する。

〈ポスター〉

- ・ポスターのサイズ(A0?)と向き(縦?横?)を確認する。
- ・徳永会長の紹介部分は、文字数を極力減らして要約した上で、会長本人に確認してもらう。
- ・指摘事項(文字数を極力減らす(解説はパンフレットに!))、会長・代表の2本立て(パンフレットに合わせる?)、YEG・WEG の活動アピールなどを更新する。
- ・掲載に適した写真や図面については、担当の各委員のほうで入手して担当委員へ提供する。

〈災害調査団報告書の抜粋版〉

- ・体裁としては、QR コードでリンク先(学会 Facebook に写真等を掲載)へ飛ばす形で準備する。

6) 2024 研究発表会 特別セッション

- ・招待講演5編(予定)の謝金の取り扱いなどについて、次回理事会で再度確認する。
- ・招待講演のタイトルとアブストラクトについて、引き続き発表者に確認を行う。なお、マレーシアからの発表予定については、先方へ再度確認する。

7) 日韓台3か国セッション(目標:第2回の 2025 年開催に向けて)

- ・10月の拡大総務委員会において研究発表会に絡めた開催を提案できるよう、8月中にコアメンバーで開催素案(工程、支部との役割分担)を検討する。
- ・工程案:海外組は金曜に現地入り、土曜の巡検に合流参加、日曜にセッション開催、月曜に帰国。出費:必要最小限となるような工夫が必要。
- ・韓国・台湾との文書取り交わしは、現時点では想定しない。また、中国との関係性も十分配慮した上での活動とすることが望ましい。

8) ARC15 関連

- ・先方からの要望(日本でセッション企画)に対して、請けるのであれば議長を引き受ける覚悟が必要。
- ・セッション案について検討する。(災害系?アウトリーチ系?場合によってはアジア地区 VP にも要相談)
- ・企業への展示ブース参加の呼びかけについては、理事会で方法等を確認する。

9) ARC16 (2027) 関連

- ・関東以外で開催する場合、支部で開催可否を検討するためには、支部に対して『実行委員会、本部、支部での役割分担』『想定する開催規模(参加者数、会議室数など)』を明確にする必要がある。
- ・開催候補地(本部?支部?)について、次回理事会や事業企画委員会に相談してみる。

(2) その他

1) Ranjan 先生 ウェビナー開催

- ・開催概要について説明がなされた。

2) 将来構想検討特別委員会

- ・前回議事録について説明がなされた。

3) IAEG 戦略声明について

- ・将来構想検討特別委員会の委員長からの確認依頼について説明がなされた。学会の理念体系への IAEG 戦略声明の反映方法について、引き続き調整を行う
- ・学会 HP に掲載されている IAEG 戦略声明について、最新版に更新する。

4) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・6月号の掲載記事を確認した。
- ・次々号(10月号)の掲載に向けて、担当に改めて準備状況を確認する。

5) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、

JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

- ・理事会では、日本語版 HP を外部委託してリニューアルするタイミングで、英語版も合わせて対応予定との報告があった。更新の方法について、広報・情報委員会との調整を継続する。

(2) JSEG 日本語版 HP

- ・適宜、掲示情報の更新を行う。

(3) 学会 Facebook

- ・適宜、掲示情報の更新を行う。

5. その他

- ・次回理事会において、国際委員会の新メンバー選任(崎田さん:清水建設)が承認される予定。
- ・次回委員会(令和6年度_第3回)は、令和6年9月に開催する方向で調整する。[\(山田幹事\)](#)

以 上